『第171回 営業地区内の景気動向調査』

１．調査内容	平成30年 1～3月期の実績				
	平成30年 4～6月期の予想				
２．調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	109社		
（業種別内訳）	製　造　業	31社	卸　売　業	10社	
	小　売　業	22社	サービス業	14社	
	建　設　業	21社	不動産業	11社	
３．調査担当	道南うみ街信用金庫				
	業務部　地域貢献課				

☆ 目 次 ☆

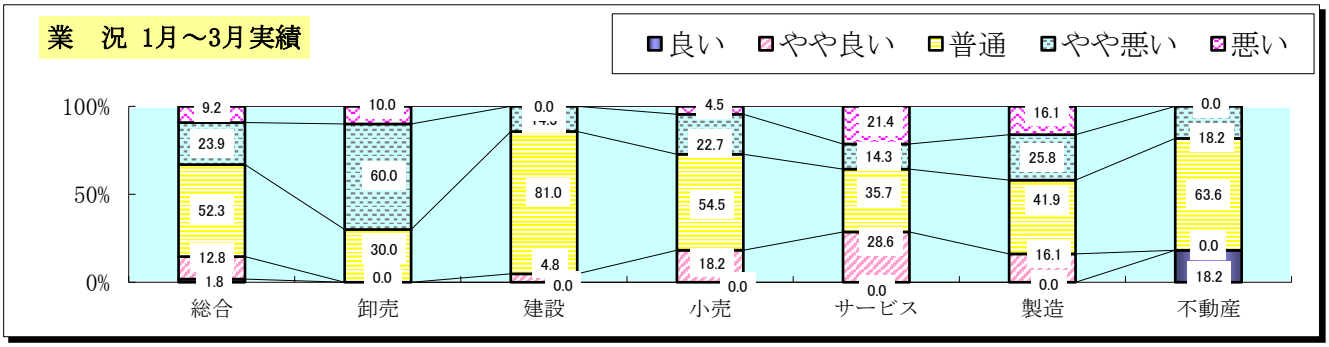
概況	P. 1
前期に比べた売上高の動き	P. 2
前期に比べた受注残・施工高の動き	P. 3
前期に比べた収益の動き	P. 4
前期に比べた販売価格（料金価格）の動き	P. 5
前期に比べた仕入価格の動き	P. 6
前期に比べた在庫の動き	P. 7
前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
前年同期に比べた売上額の動き	P. 9
前年同期に比べた収益の動き	P. 10
前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
前期に比べた残業時間の動き	P. 12
前期に比べた人手の動き	P. 13
前期に比べた借入金の動き及び難易度	P. 14
前期に比べた設備投資の動き	P. 15
前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 …「経営者の健康管理と事業の継続について」①	P. 19
特別調査 …「経営者の健康管理と事業の継続について」②	P. 20

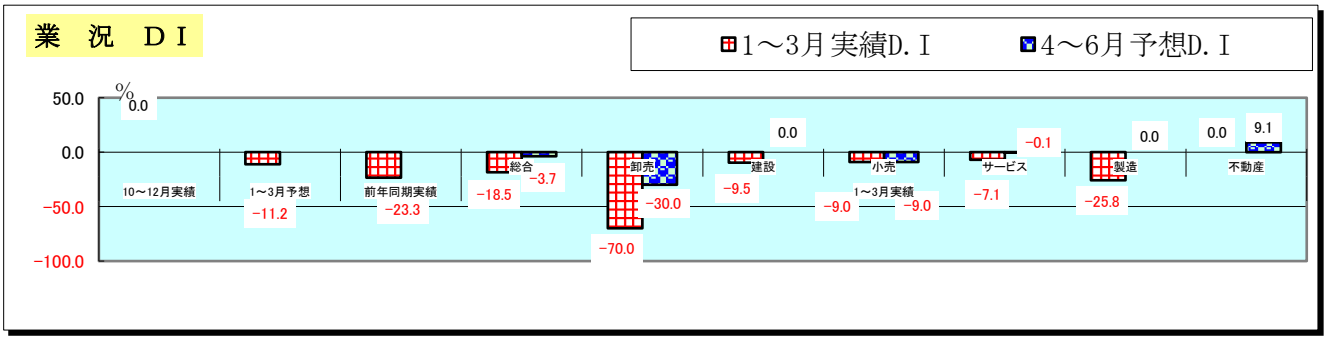
※　計数等については、四捨五入しておりますので、
一部合計欄と一致しない場合がございます。

道南うみ街信用金庫

１．概　　況

概　　況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	1～3月実績D.Ｉ	4～6月予想D.Ｉ
10～12月実績							0.0	
1～3月予想							-11.2	
前年同期実績							-23.3	
1～3月実績	総合	1.8	12.8	52.3	23.9	9.2	-18.5	-3.7
	卸売	0.0	0.0	30.0	60.0	10.0	-70.0	-30.0
	建設	0.0	4.8	81.0	14.3	0.0	-9.5	0.0
	小売	0.0	18.2	54.5	22.7	4.5	-9.0	-9.0
	サービス	0.0	28.6	35.7	14.3	21.4	-7.1	-0.1
	製造	0.0	16.1	41.9	25.8	16.1	-25.8	0.0
	不動産	18.2	0.0	63.6	18.2	0.0	0.0	9.1





○〔当金庫の取引先からみた中小企業の景況〕

平成30年1月～3月期の業況判断D.I.は△18.5と10～12月期(前期）に比べ18.5ポイント悪化となりましたが、前年同期比では4.8ポイント改善を示しました。

今期売上判断D.I.は、前期実績D.I.3.7から32.1ポイント、前回調査における今期の予測D.I.△19.6からも8.8ポイントの悪化を示しました。

平成30年4月～6月期（来期）の予想業況判断D.I.は△3.7と、今期実績比14.8ポイントの良化が予想されており、経営者のマインドは業況の上昇を見込んでいます。

○〔全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況〕（信金中央金庫地域・中小企業研究所調べ）

18年1～3月期（今期）の業況判断D.I.は△2.1、前期に比べ3.3ポイントの低下と、改善一服となった。

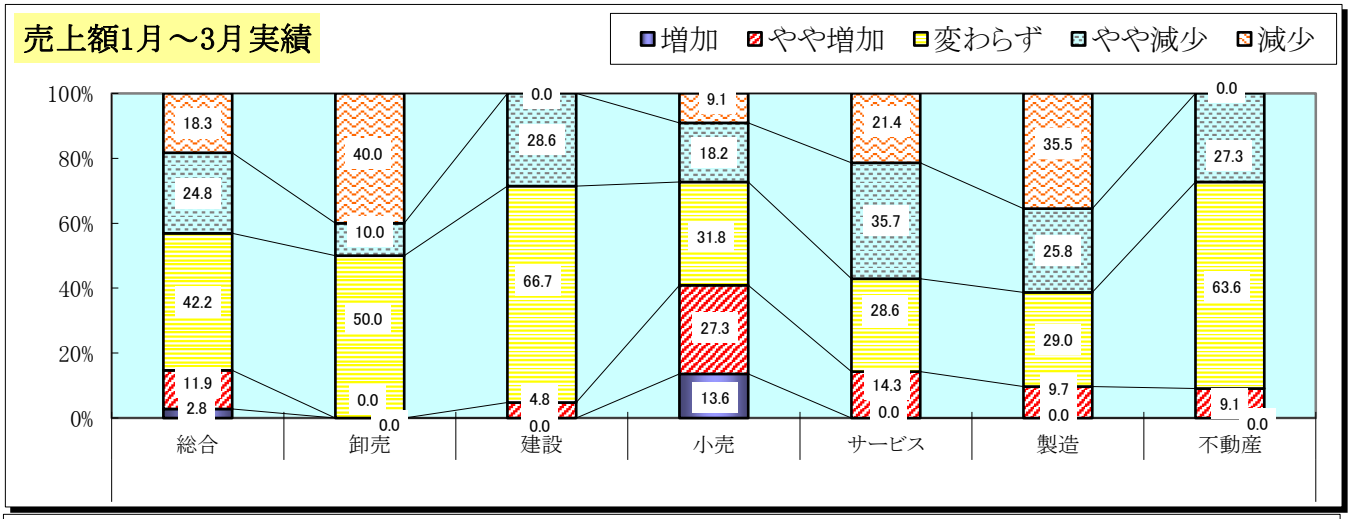
収益面では、前年同期比売上額判断D.I.がプラス1.2と前期比0.1ポイント改善、同収益判断D.I.は△4.4と同1.8ポイント低下した。販売価格判断D.I.は同0.7ポイント低下し、プラス4.9となった。人手過不足判断D.I.は△26.9と、同0.2ポイント低下し、人手不足感は一段と強まった。業種別の業況判断D.I.は、小売業と不動産業を除く4業種で低下した。地域別では、11地域中、首都圏を除く10地域で低下した。

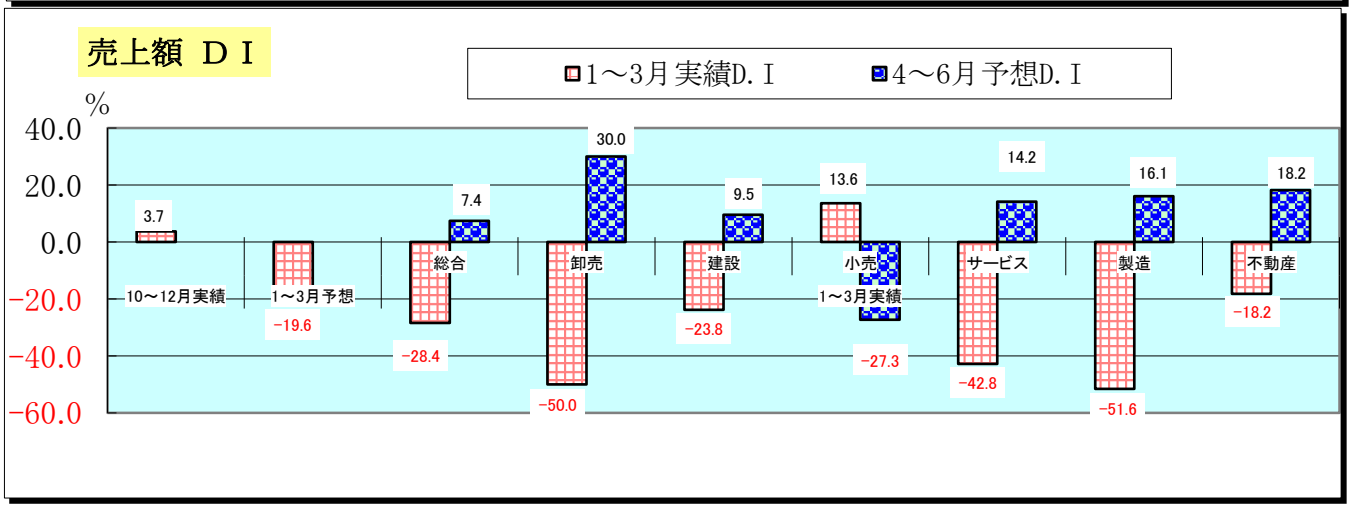
18年4～6月期（来期）の予想業況判断D.I.は△0.3、今期実績比1.8ポイントの改善見通しである。業種別には、建設業と不動産業を除く4業種で、地域別には11地域中、8地域で改善する見通しにある。

２．前期に比べた動き

（１）売上額の動き

売　上　額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							3.7	
1～3月予想							-19.6	
1～3月実績	総合	2.8	11.9	42.2	24.8	18.3	-28.4	7.4
	卸売	0.0	0.0	50.0	10.0	40.0	-50.0	30.0
	建設	0.0	4.8	66.7	28.6	0.0	-23.8	9.5
	小売	13.6	27.3	31.8	18.2	9.1	13.6	-27.3
	サービス	0.0	14.3	28.6	35.7	21.4	-42.8	14.2
	製造	0.0	9.7	29.0	25.8	35.5	-51.6	16.1
	不動産	0.0	9.1	63.6	27.3	0.0	-18.2	18.2





○ 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」した企業は全体の14.7%、「減少」「やや減少」した企業は43.1%を示し、D.I.は△28.4となりました。

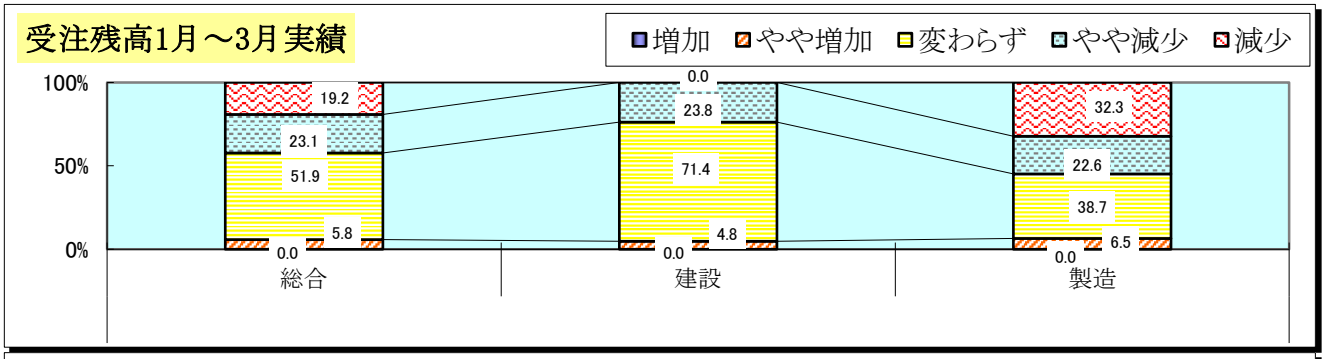
○ 今期実績は、前期実績D.I.3.7から32.1ポイント、前回調査における今期の予測D.I.△19.6からも8.8ポイントの悪化を示しました。

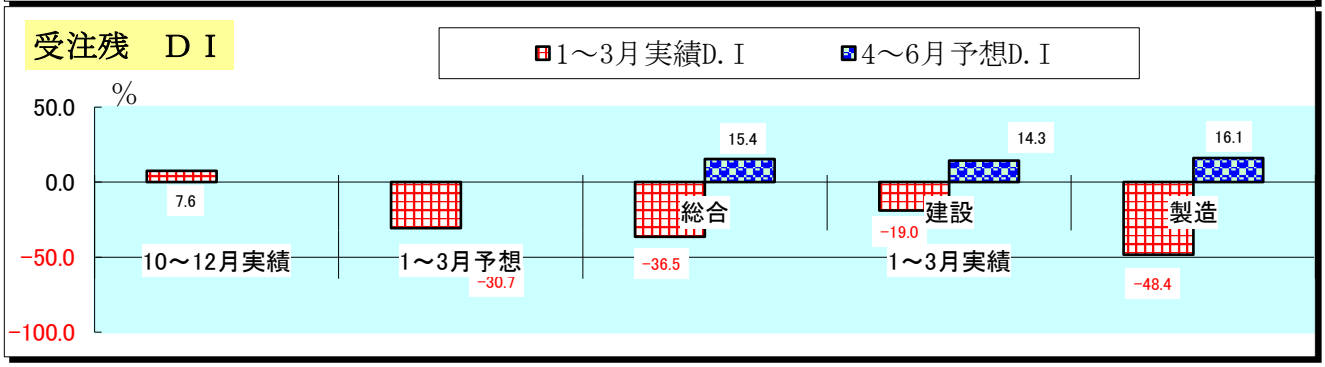
○ 業種別の今期D.I.は、小売業を除く全ての業種で減少傾向となっています。

○ 4～6月期の売上額予想D.I.は7.4で、今期実績対比35.8ポイントの増加を予想しています。

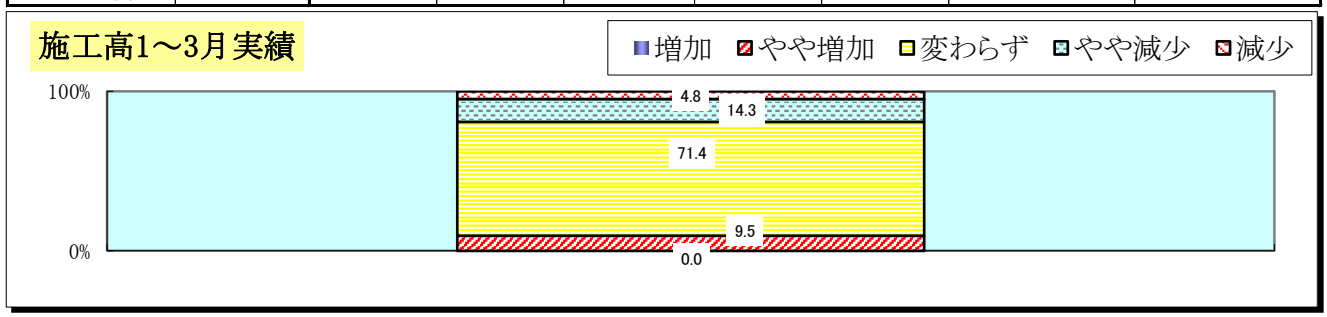
（２）受注残・施工高の動き

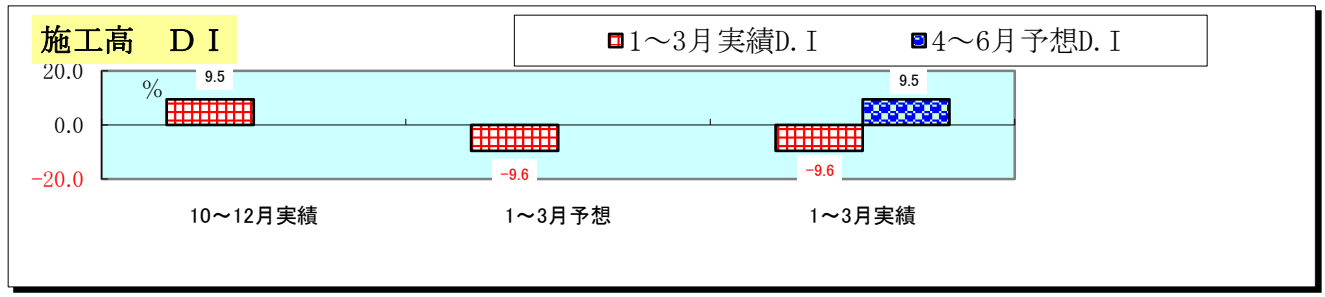
受　注　残　高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I	4～6月予想D. I
10～12月実績							7. 6	
1～3月 予想							-30. 7	
1～3月 実績	総合	0. 0	5. 8	51. 9	23. 1	19. 2	-36. 5	15. 4
	建設	0. 0	4. 8	71. 4	23. 8	0. 0	-19. 0	14. 3
	製造	0. 0	6. 5	38. 7	22. 6	32. 3	-48. 4	16. 1





施　工　高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I	4～6月予想D. I
10～12月実績							9. 5	
1～3月 予想							-9. 6	
1～3月 実績		0. 0	9. 5	71. 4	14. 3	4. 8	-9. 6	9. 5



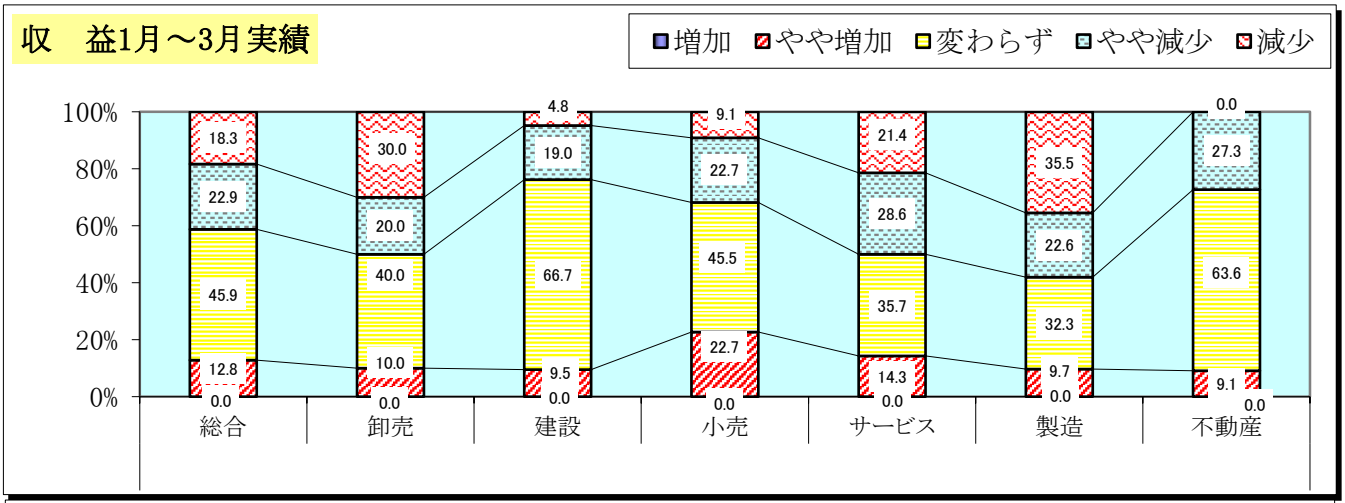


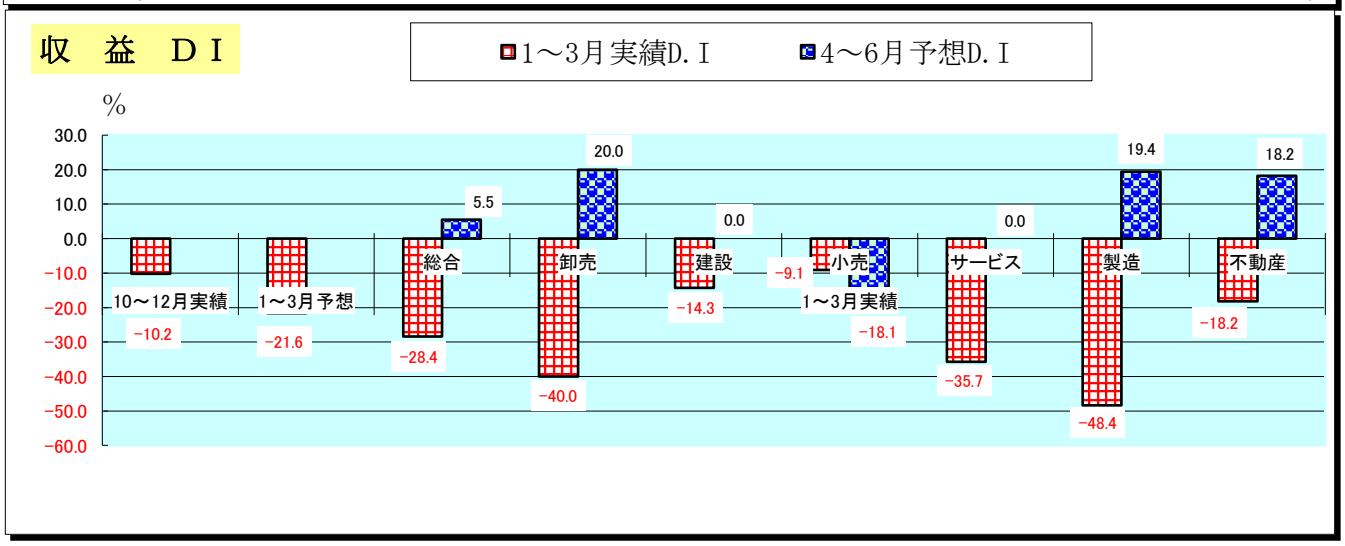
○ 受注残(製造業、建設業のみ)D. I. は△36. 5で前期実績のD. I. 7. 6に対し44. 1ポイント、前期調査における今期の予想D. I. △30. 7に対しても5. 8ポイント下回りました。
また、4～6月期の受注残予想D. I. は15. 4で、今期実績対比51. 9ポイントの大幅増加を予想しています。

○ 施工高(建設業のみ)D. I. は△9. 6で、前期実績D. I. 9. 5に対しては19. 1ポイント下回りました。前回調査における今期予想D. I. △9. 6に対しては誤差なく予想通りの結果となりました。
また、4～6月期の施工高予想D. I. は9. 5で、1～3月実績対比19. 1ポイントの増加を予想しています。

（３）収益の動き

収　益　の　動　き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I	4～6月予想D. I
10～12月実績							-10. 2	
1～3月予想							-21. 6	
1～3月実績	総合	0. 0	12. 8	45. 9	22. 9	18. 3	-28. 4	5. 5
	卸売	0. 0	10. 0	40. 0	20. 0	30. 0	-40. 0	20. 0
	建設	0. 0	9. 5	66. 7	19. 0	4. 8	-14. 3	0. 0
	小売	0. 0	22. 7	45. 5	22. 7	9. 1	-9. 1	-18. 1
	サービス	0. 0	14. 3	35. 7	28. 6	21. 4	-35. 7	0. 0
	製造	0. 0	9. 7	32. 3	22. 6	35. 5	-48. 4	19. 4
	不動産	0. 0	9. 1	63. 6	27. 3	0. 0	-18. 2	18. 2





○ 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」した企業は12. 8%、「やや減少」「減少」した企業は41. 2%でD. I. は△28. 4となりました。

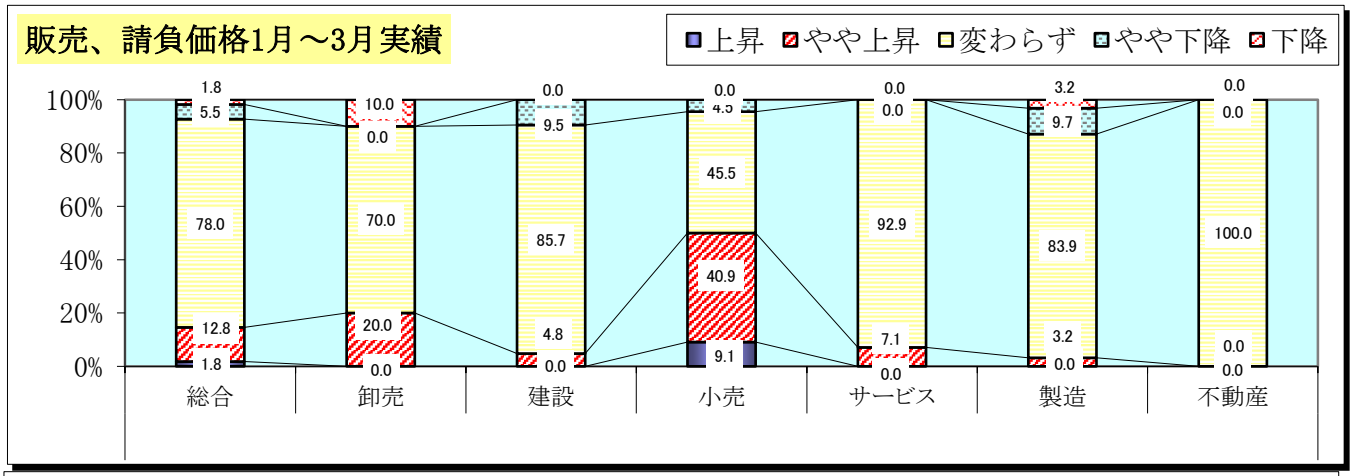
○ 今期実績は、前期実績D. I. △10. 2から18. 2ポイント、前回調査における今期予想D. I. △21. 6に対しても6. 8ポイント下回りました。

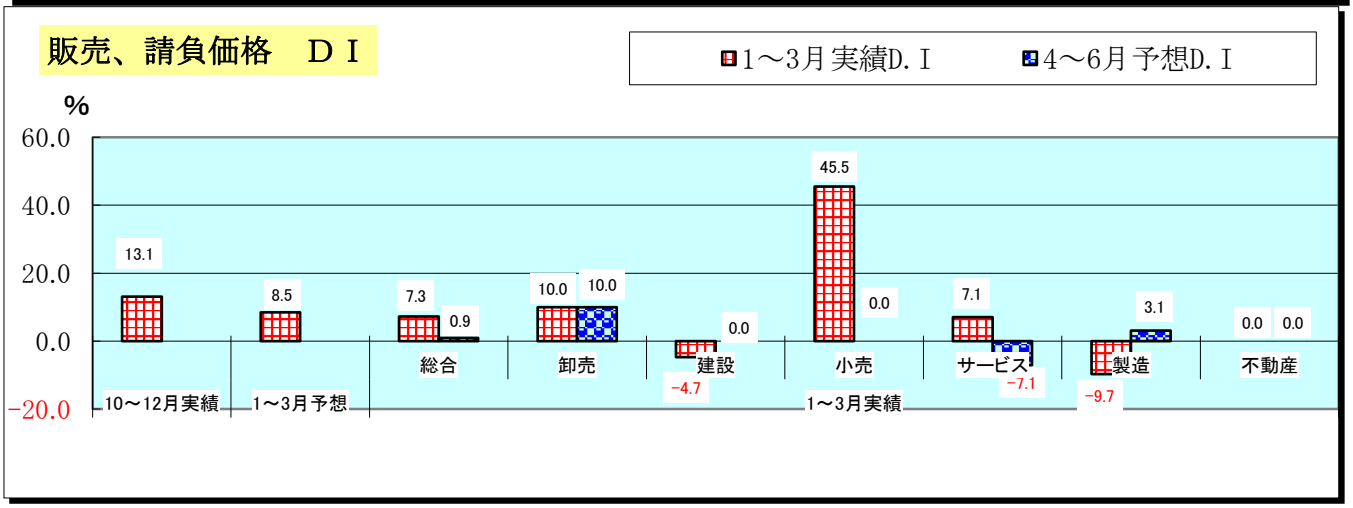
○ 業種別の今期D. I. は、全業種が減少傾向となっています。

○ 4～6月期の収益予想D. I. は5. 5で、1～3月実績より33. 9ポイントの良化を予想しています。

（４）販売価格（料金価格・請負価格）の動き

販 売 価 格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D. I	4～6月予想D. I
10～12月実績							13. 1	
1～3月予想							8. 5	
1～3月実績	総合	1. 8	12. 8	78. 0	5. 5	1. 8	7. 3	0. 9
	卸売	0. 0	20. 0	70. 0	0. 0	10. 0	10. 0	10. 0
	建設	0. 0	4. 8	85. 7	9. 5	0. 0	-4. 7	0. 0
	小売	9. 1	40. 9	45. 5	4. 5	0. 0	45. 5	0. 0
	サービス	0. 0	7. 1	92. 9	0. 0	0. 0	7. 1	-7. 1
	製造	0. 0	3. 2	83. 9	9. 7	3. 2	-9. 7	3. 1
	不動産	0. 0	0. 0	100. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0





○ 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が14. 6%、「やや下降」「下降」と回答している企業が7. 3%となり、D. I. は7. 3となりました。

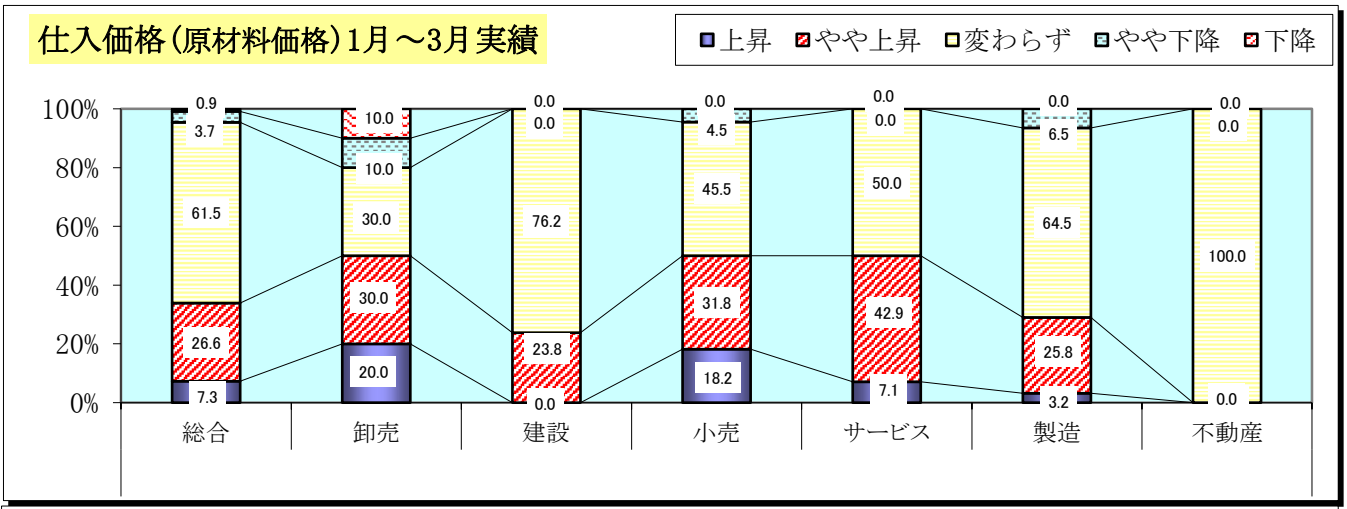
○ 今期実績は前期実績D. I. 13. 1から5. 8ポイント、前回調査における今期予想D. I. 8. 5に対しても1. 2ポイント下回りました。

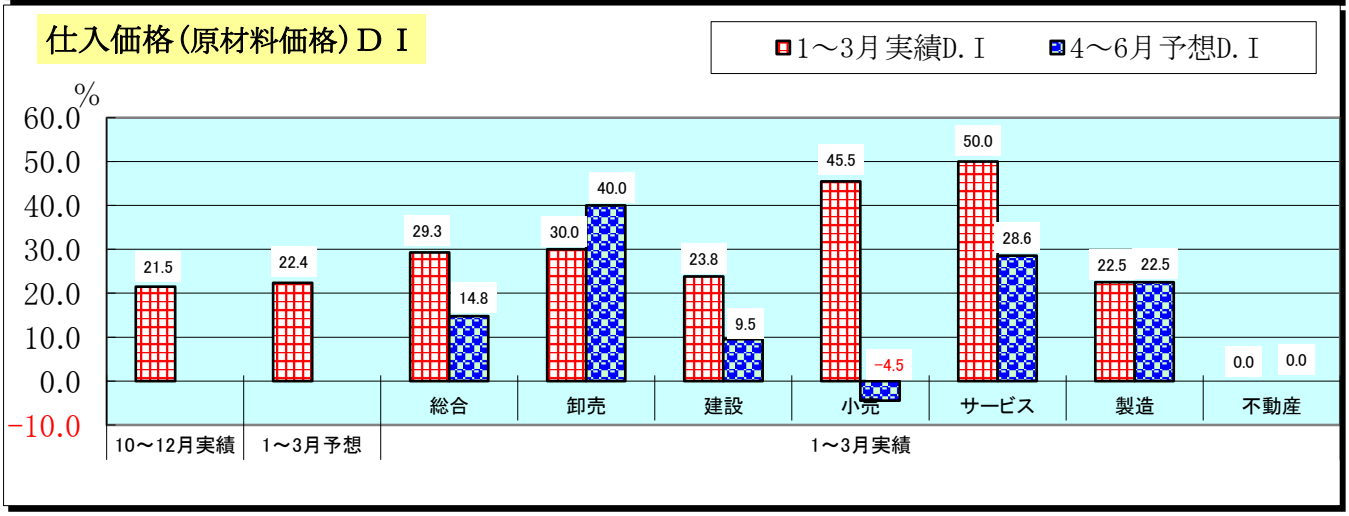
○ 業種別では、小売業の上昇傾向が顕著で、建設業と製造業は減少傾向を示しています。

○ 4～6月期の販売価格予想D. I. は0. 9で、1～3月期実績対比6. 4ポイントの下降傾向を予想しています。

（５）仕入価格（原材料価格）の動き

仕 入 価 格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D. I	4～6月予想D. I
10～12月実績							21. 5	
1～3月予想							22. 4	
1～3月実績	総合	7. 3	26. 6	61. 5	3. 7	0. 9	29. 3	14. 8
	卸売	20. 0	30. 0	30. 0	10. 0	10. 0	30. 0	40. 0
	建設	0. 0	23. 8	76. 2	0. 0	0. 0	23. 8	9. 5
	小売	18. 2	31. 8	45. 5	4. 5	0. 0	45. 5	-4. 5
	サービス	7. 1	42. 9	50. 0	0. 0	0. 0	50. 0	28. 6
	製造	3. 2	25. 8	64. 5	6. 5	0. 0	22. 5	22. 5
	不動産	0. 0	0. 0	100. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0





○ 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」と回答している企業が33. 9%、「やや下降」「下降」と回答している企業が4. 6%で、今期実績D. I. は29. 3となりました。

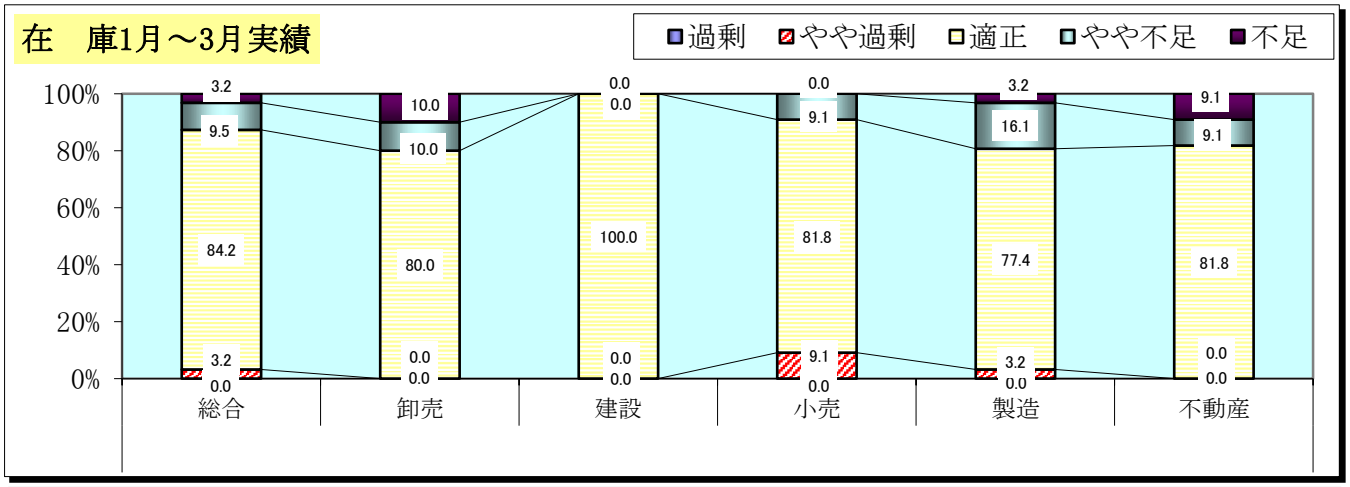
○ 今期実績は、前期実績D. I. 21. 5から7. 8ポイント、前回調査における今期予想D. I. 22. 4に対しても6. 9ポイントの増加を示しました。

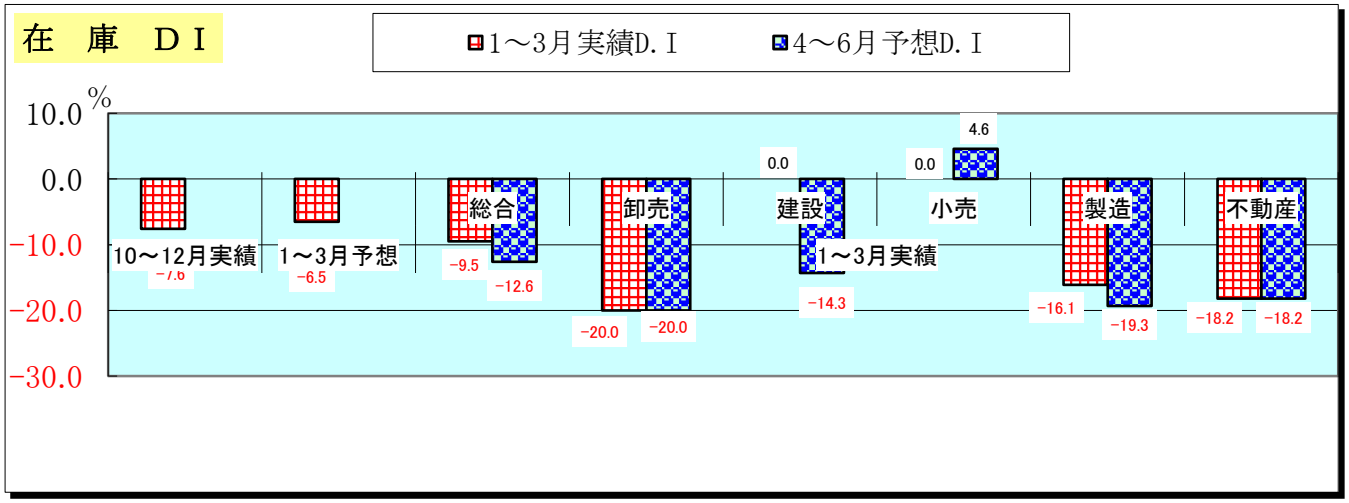
○ 業種別では、全業種共に上昇傾向を示しました。

○ 4～6月期の予想D. I. は14. 8で、1～3月期実績対比14. 5ポイントの下降を予想しています。

（６）在庫の動き

在　　庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D.Ⅰ	4～6月予想D.Ⅰ
10～12月実績							-7.6	
1～3月予想							-6.5	
1～3月実績	総合	0.0	3.2	84.2	9.5	3.2	-9.5	-12.6
	卸売	0.0	0.0	80.0	10.0	10.0	-20.0	-20.0
	建設	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	-14.3
	小売	0.0	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	4.6
	製造	0.0	3.2	77.4	16.1	3.2	-16.1	-19.3
	不動産	0.0	0.0	81.8	9.1	9.1	-18.2	-18.2





○ 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」と回答している企業が3.2%、「やや不足」「不足」と回答している企業が12.7%で、今期D.I.は△9.5となりました。

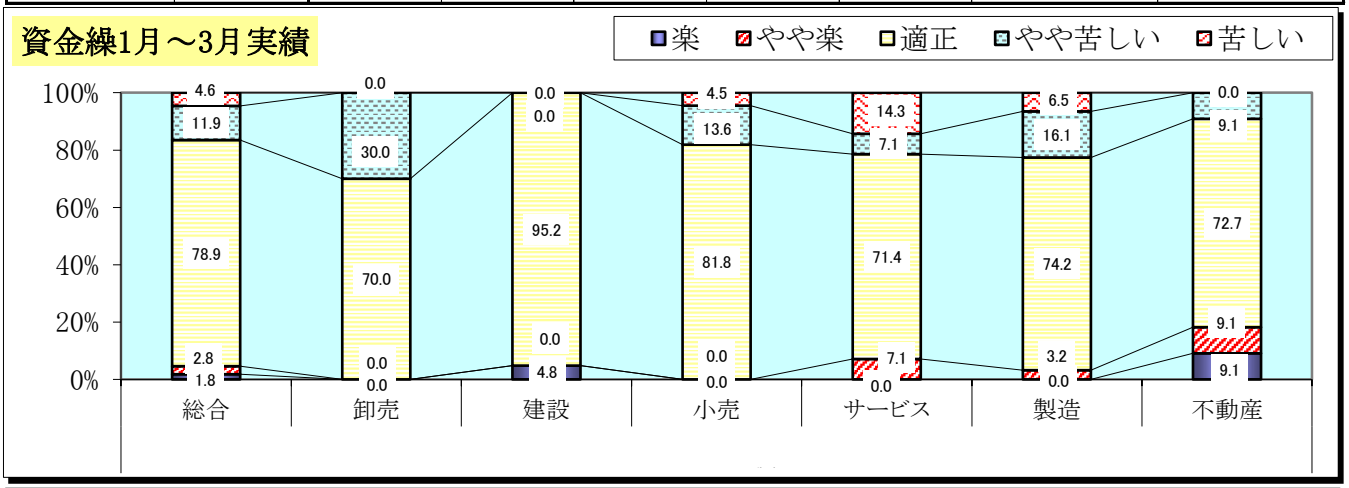
○ 今期実績は、前期実績D.I.△7.6から1.9ポイント、前回における今期予想D.I.△6.5に対しても3.0ポイントの減少を示しました。

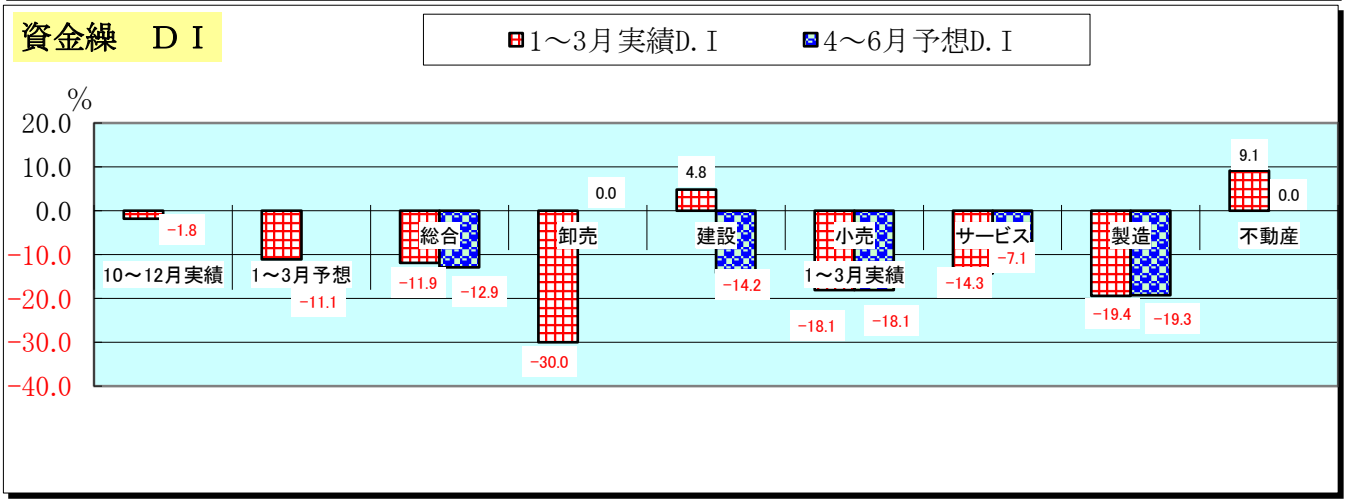
○ 業種別では、卸売業・製造業・不動産業が不足傾向を示しています。

○ 4～6月期の予想D.I.は△12.6で、1～3月期実績対比3.1ポイントの減少を予想をしています。

（7）資金繰りの動き

資　金　繰		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-1.8	
1～3月予想							-11.1	
1～3月実績	総合	1.8	2.8	78.9	11.9	4.6	-11.9	-12.9
	卸売	0.0	0.0	70.0	30.0	0.0	-30.0	0.0
	建設	4.8	0.0	95.2	0.0	0.0	4.8	-14.2
	小売	0.0	0.0	81.8	13.6	4.5	-18.1	-18.1
	サービス	0.0	7.1	71.4	7.1	14.3	-14.3	-7.1
	製造	0.0	3.2	74.2	16.1	6.5	-19.4	-19.3
	不動産	9.1	9.1	72.7	9.1	0.0	9.1	0.0





○ 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」と回答している企業が4.6%、「やや苦しい」「苦しい」と回答している企業が16.5%となり、今期D.I.は△11.9となりました。

○ 今期実績は前期実績D.I.△1.8から10.1ポイント、前回調査における今期予想D.I.△11.1に対しても0.8ポイントの悪化を示しました。

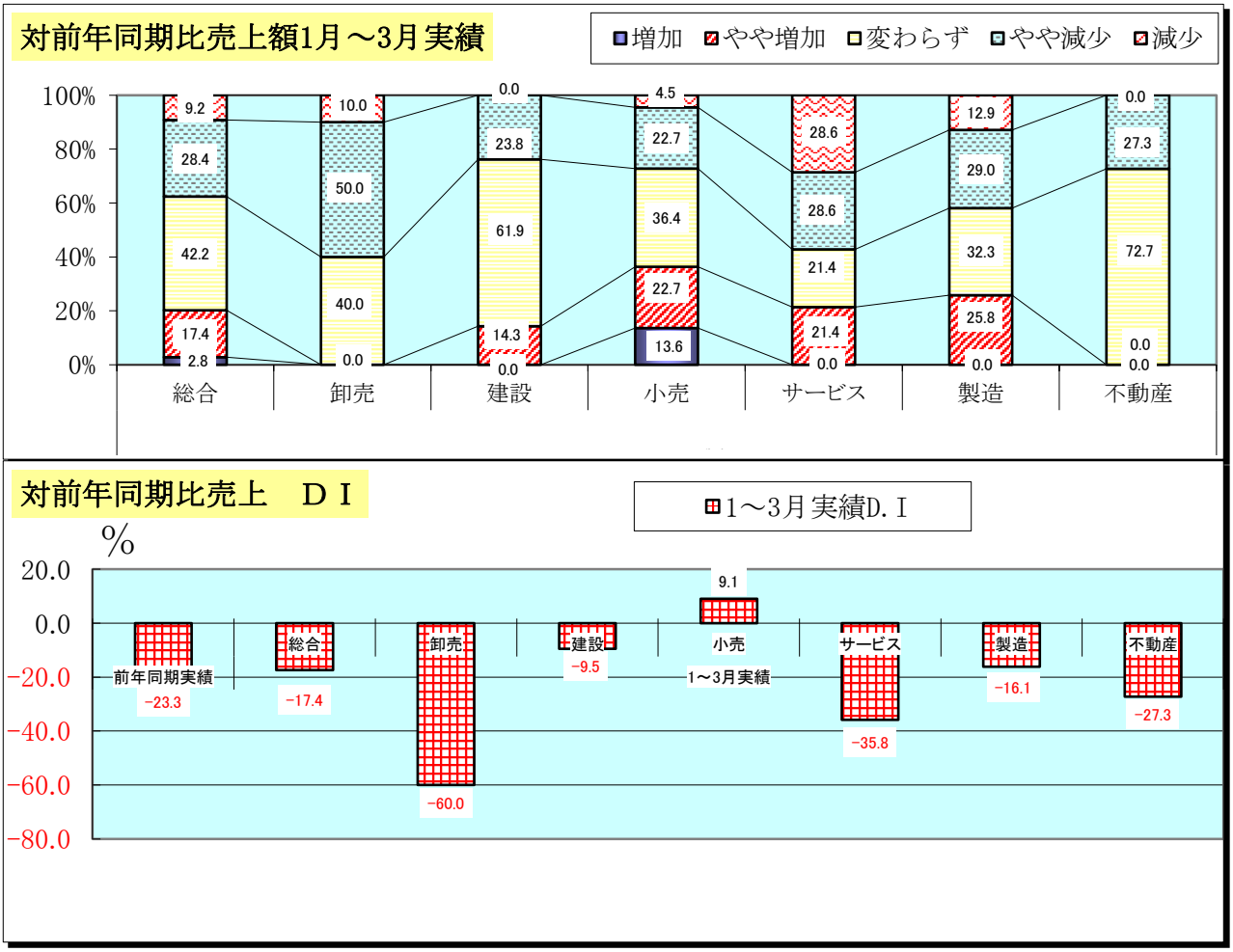
○ 業種別では、卸売業・小売業・サービス業・製造業の資金繰りが苦しい状況を示しています。

○ 4～6期の予想D.I.は△12.9で、1～3月期実績対比1.0ポイントの悪化を予想しています。

３．対前年同期に比べた動き

（１）売上

対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.I
前年同期実績							-23.3
1～3月実績	総合	2.8	17.4	42.2	28.4	9.2	-17.4
	卸売	0.0	0.0	40.0	50.0	10.0	-60.0
	建設	0.0	14.3	61.9	23.8	0.0	-9.5
	小売	13.6	22.7	36.4	22.7	4.5	9.1
	サービス	0.0	21.4	21.4	28.6	28.6	-35.8
	製造	0.0	25.8	32.3	29.0	12.9	-16.1
	不動産	0.0	0.0	72.7	27.3	0.0	-27.3



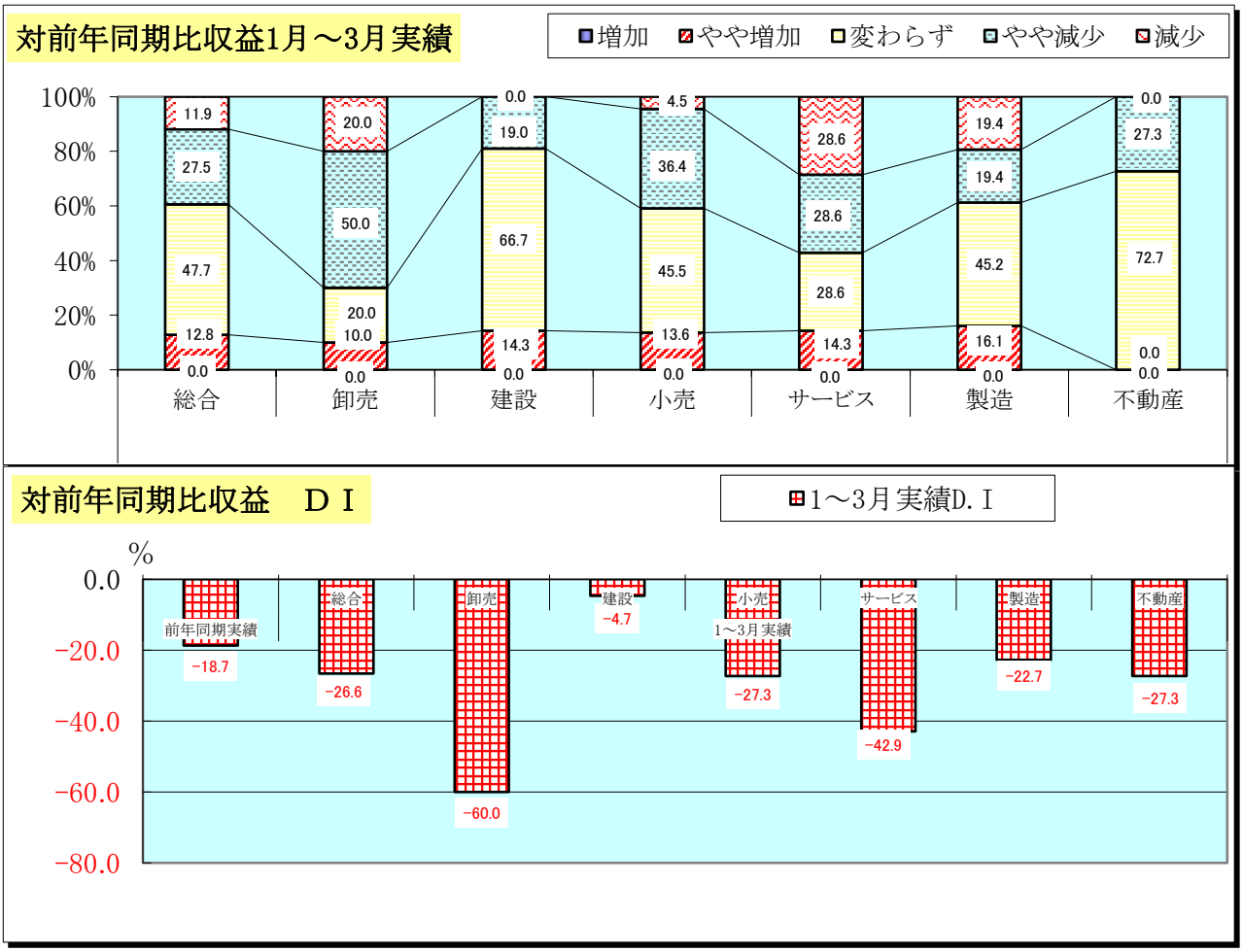
○ 前年同期に比べた売上実績については、「増加」「やや増加」と回答している企業が20.2%、「やや減少」「減少」と回答している企業が37.6%で、今期D.I.は△17.4となりました。

○ 今期実績は、前年同期実績D.I.△23.3に対し5.9ポイントの良化を示しました。

○ 業種別では、小売業を除く全ての業種で減少傾向となりました。

（２）収益

対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D.Ｉ
前年同期実績							-18.7
1～3月実績	総合	0.0	12.8	47.7	27.5	11.9	-26.6
	卸売	0.0	10.0	20.0	50.0	20.0	-60.0
	建設	0.0	14.3	66.7	19.0	0.0	-4.7
	小売	0.0	13.6	45.5	36.4	4.5	-27.3
	サービス	0.0	14.3	28.6	28.6	28.6	-42.9
	製造	0.0	16.1	45.2	19.4	19.4	-22.7
	不動産	0.0	0.0	72.7	27.3	0.0	-27.3



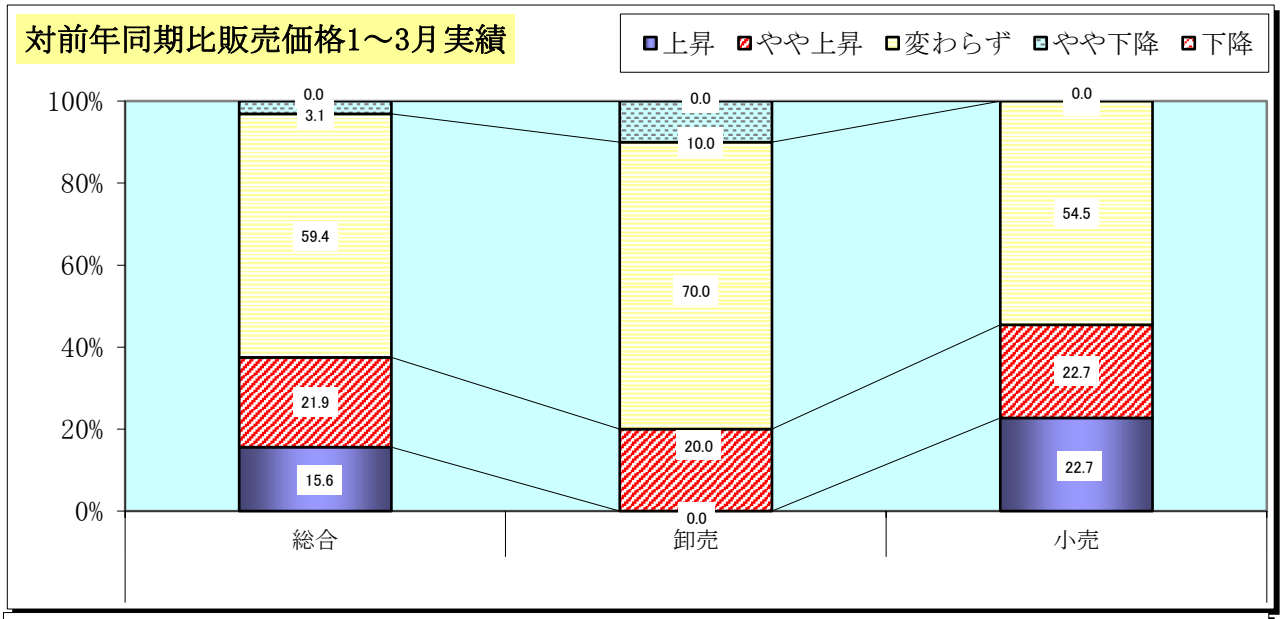
○ 収益については、「増加」「やや増加」と回答している企業が12.8%、「やや減少」「減少」と回答している企業が39.4%で、今期D.I.は△26.6となりました。

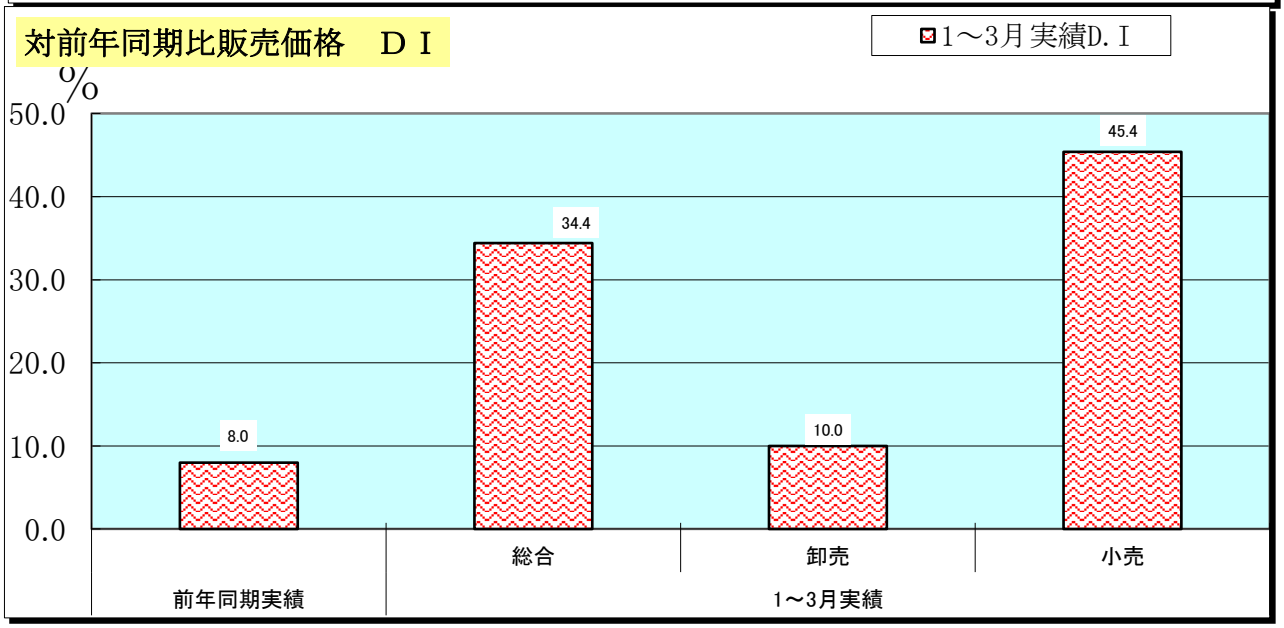
○ 今期実績は前年同期実績D.I.△18.7に対し、7.9ポイントの悪化となりました。

○ 業種別では、全ての業種で減少傾向となりました。

（３）販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D.Ｉ
前年同期実績							8.0
1～3月実績	総合	15.6	21.9	59.4	3.1	0.0	34.4
	卸売	0.0	20.0	70.0	10.0	0.0	10.0
	小売	22.7	22.7	54.5	0.0	0.0	45.4





○ 販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」と回答している企業が37.5%、「やや下降」「下降」と回答している企業が3.1%となり、D.I.は34.4となりました。

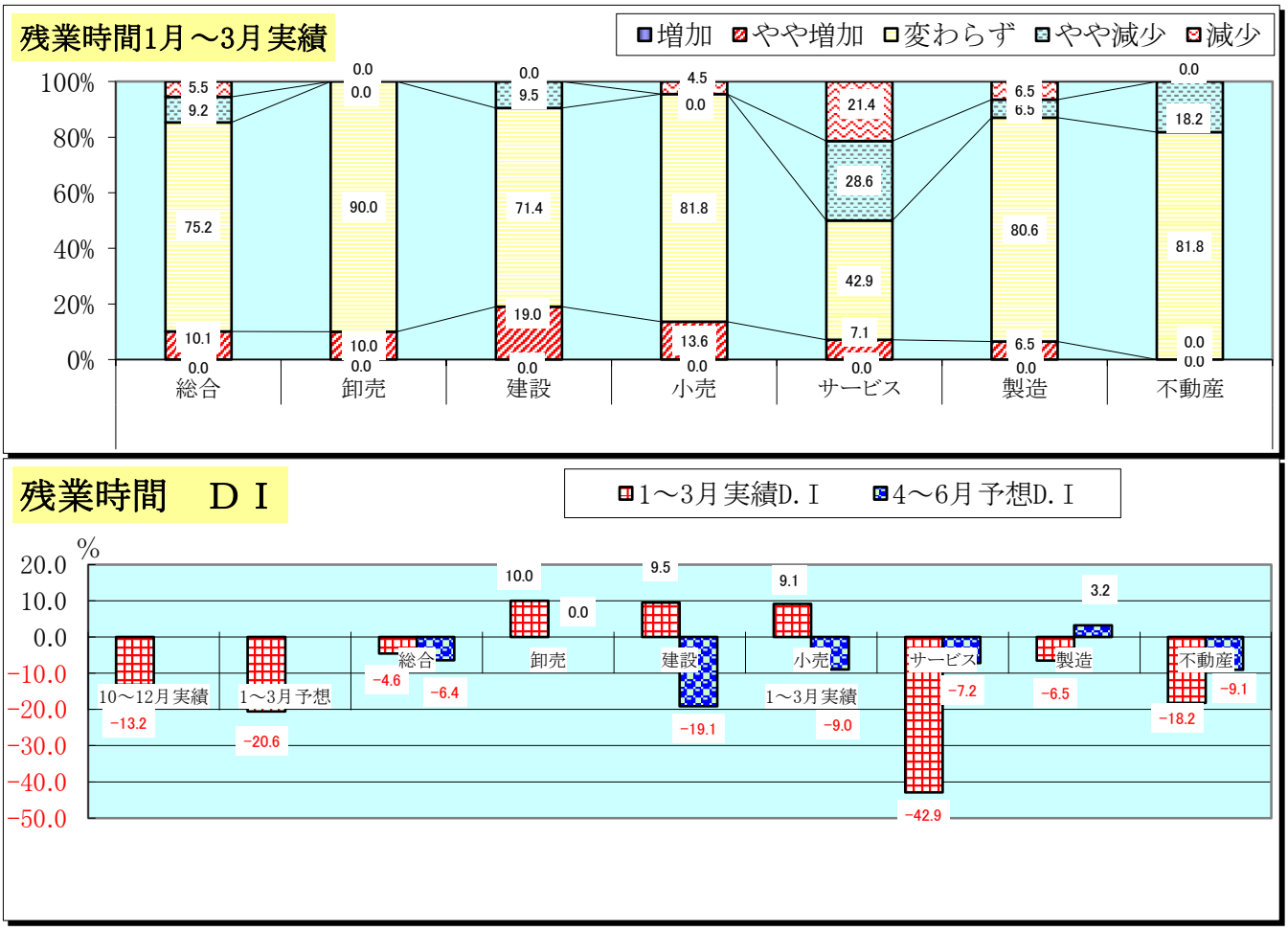
○ 今期実績は前年同期実績D.I.8.0に対し26.4ポイントの上昇となりました。

○ 業種別では、卸売業・小売業共に上昇傾向を示しています。

４．雇用面の動き

（１）残業時間

残 業 時 間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I	4～6月予想D. I
10～12月実績							-13. 2	
1～3月予想							-20. 6	
1～3月実績	総合	0. 0	10. 1	75. 2	9. 2	5. 5	-4. 6	-6. 4
	卸売	0. 0	10. 0	90. 0	0. 0	0. 0	10. 0	0. 0
	建設	0. 0	19. 0	71. 4	9. 5	0. 0	9. 5	-19. 1
	小売	0. 0	13. 6	81. 8	0. 0	4. 5	9. 1	-9. 0
	サービス	0. 0	7. 1	42. 9	28. 6	21. 4	-42. 9	-7. 2
	製造	0. 0	6. 5	80. 6	6. 5	6. 5	-6. 5	3. 2
	不動産	0. 0	0. 0	81. 8	18. 2	0. 0	-18. 2	-9. 1



○ 残業時間については、「増加」「やや増加」と回答している企業が10. 1%、「やや減少」「減少」と回答している企業が14. 7%でD. I. は△4. 6となりました。

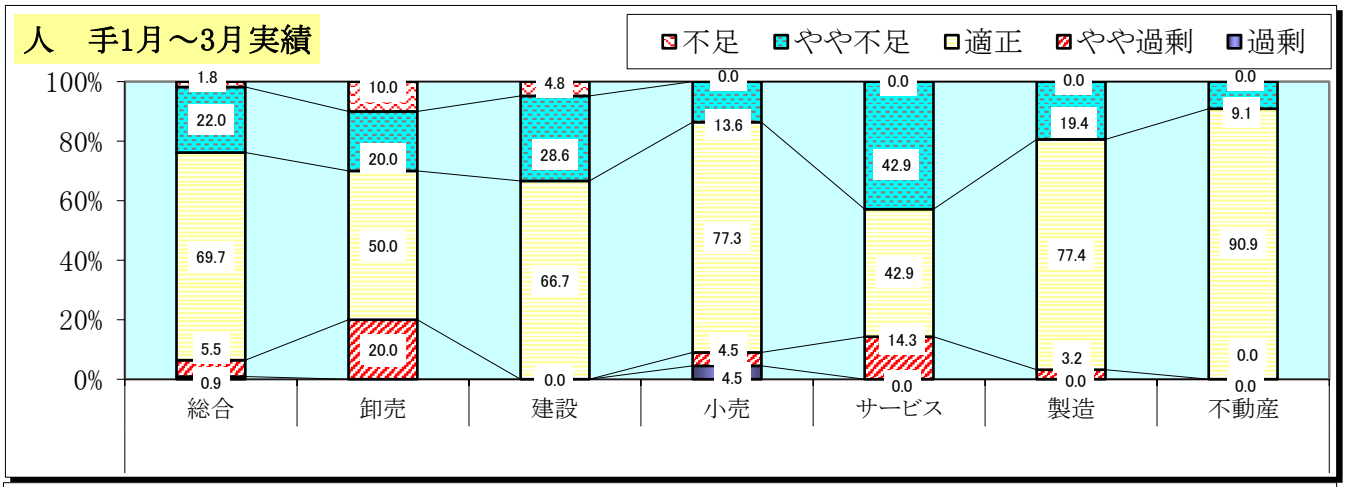
○ 今期実績は前期実績D. I. △13. 2から8. 6ポイント、前回調査における今期予想D. I. △20. 6に対しても16. 0ポイントの増加を示しました。

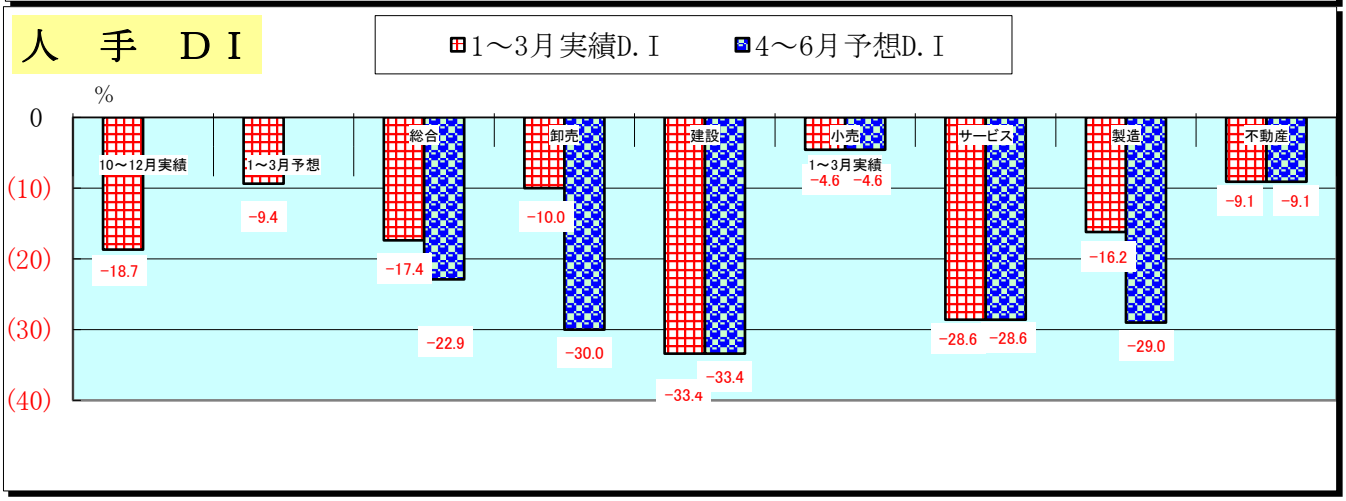
○ 業種別では、サービス業、不動産業、製造業が減少傾向を示しています。

○ 4～6月期の予想D. I. は△6. 4で、1～3月期実績より1. 8ポイントの減少を予想しています。

（2）人手

人　　手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D. I	4～6月予想D. I
10～12月実績							-18. 7	
1～3月予想							-9. 4	
1～3月実績	総合	0. 9	5. 5	69. 7	22. 0	1. 8	-17. 4	-22. 9
	卸売	0. 0	20. 0	50. 0	20. 0	10. 0	-10. 0	-30. 0
	建設	0. 0	0. 0	66. 7	28. 6	4. 8	-33. 4	-33. 4
	小売	4. 5	4. 5	77. 3	13. 6	0. 0	-4. 6	-4. 6
	サービス	0. 0	14. 3	42. 9	42. 9	0. 0	-28. 6	-28. 6
	製造	0. 0	3. 2	77. 4	19. 4	0. 0	-16. 2	-29. 0
	不動産	0. 0	0. 0	90. 9	9. 1	0. 0	-9. 1	-9. 1





○ 人手の過不足については、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が6. 4%、「やや不足」「不足」と回答している企業が23. 8%で、D. I. は△17. 4となりました。

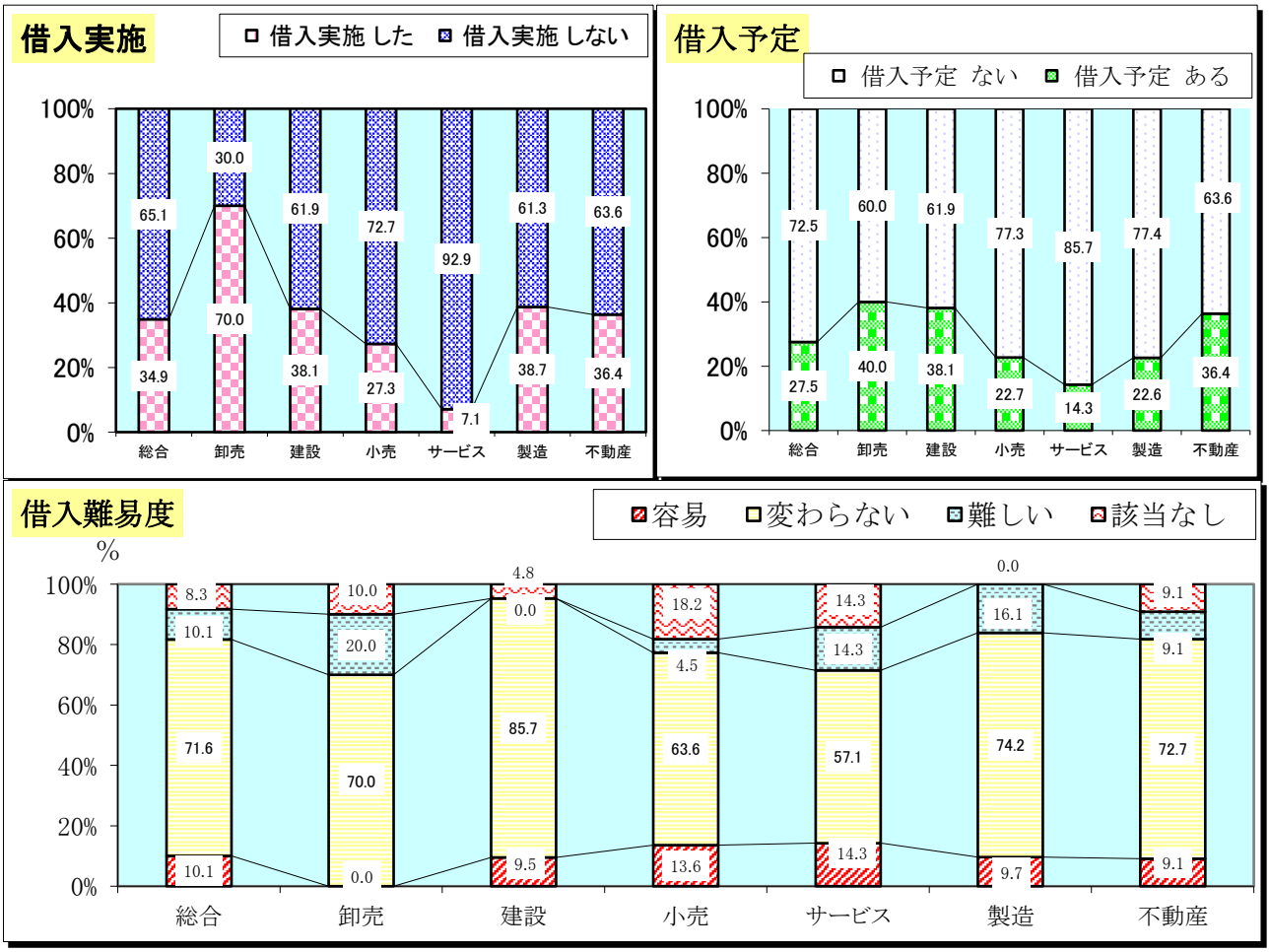
○ 今期実績は前期実績D. I. △18. 7から1. 3ポイント改善、前回調査における今期予想D. I. △9. 4に対しては、8. 0ポイントの不足を示しました。

○ 業種別では、全業種で、人手不足傾向となっています。

○ 4～6月期予想D. I. は△22. 9で、1～3月期実績D. I. より5. 5ポイントの不足を予想しています。

５．借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	34.9	65.1	27.5	72.5	10.1	71.6	10.1	8.3
卸売	70.0	30.0	40.0	60.0	0.0	70.0	20.0	10.0
建設	38.1	61.9	38.1	61.9	9.5	85.7	0.0	4.8
小売	27.3	72.7	22.7	77.3	13.6	63.6	4.5	18.2
サービス	7.1	92.9	14.3	85.7	14.3	57.1	14.3	14.3
製造	38.7	61.3	22.6	77.4	9.7	74.2	16.1	0.0
不動産	36.4	63.6	36.4	63.6	9.1	72.7	9.1	9.1



○ 今期中に借入を「実施した」企業は全体の34.9%であり、全ての業種で借入を実施しています。
前期調査時の借入実施率は38.5%で3.6%の減少となっています。

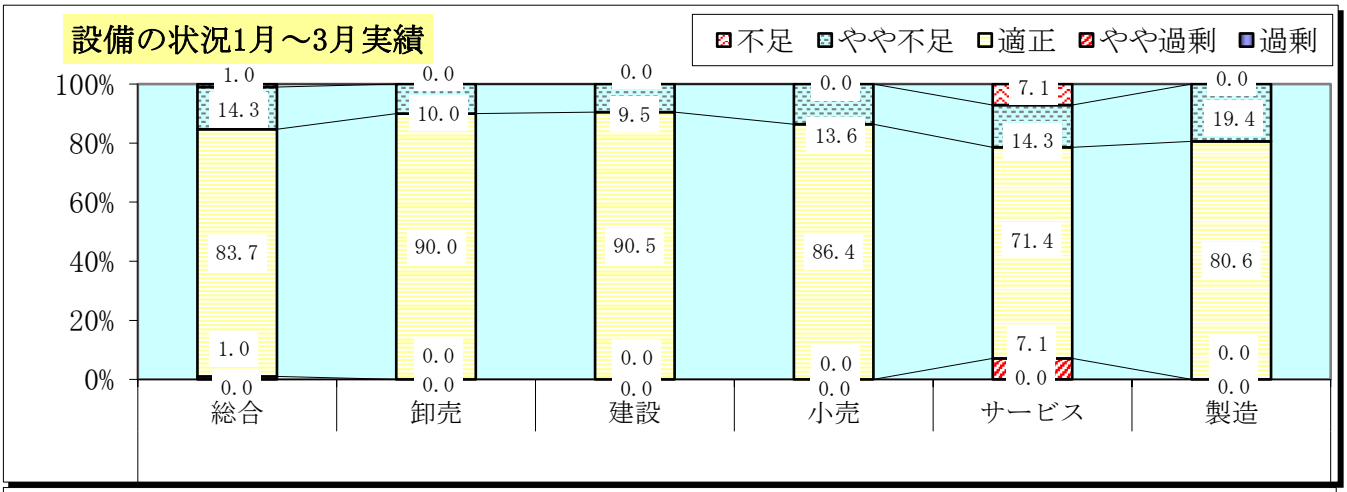
○ 今後の借入予定では、27.5%の企業が「予定あり」と回答しています。
業種別では、卸売業40.0%、建設業38.1%、不動産業36.4%等となっています。

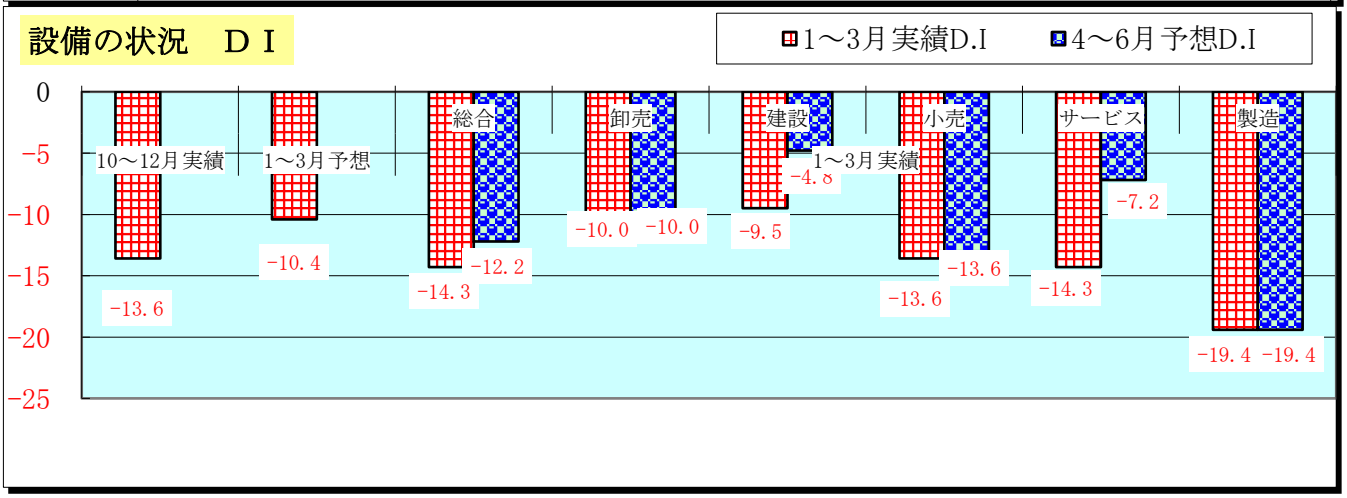
○ 民間金融機関からの借入難易度について見ると、「変わらない」と回答した企業が71.6%（前回67.0%）、「容易」は10.1%（前回11.9%）、「難しい」は10.1%（前回11.0%）となっています。

６．設備投資の動き

（１）設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1～3月実績D.I	4～6月予想D.I
10～12月実績							-13.6	
1～3月予想							-10.4	
1～3月実績	総合	0.0	1.0	83.7	14.3	1.0	-14.3	-12.2
	卸売	0.0	0.0	90.0	10.0	0.0	-10.0	-10.0
	建設	0.0	0.0	90.5	9.5	0.0	-9.5	-4.8
	小売	0.0	0.0	86.4	13.6	0.0	-13.6	-13.6
	サービス	0.0	7.1	71.4	14.3	7.1	-14.3	-7.2
	製造	0.0	0.0	80.6	19.4	0.0	-19.4	-19.4





○ 設備の状況（不動産業を除く）について、「過剰」「やや過剰」と回答している企業が1.0%、「不足」「やや不足」と回答している企業が15.3%で、今期D.I.は△14.3となりました。

○ 今期実績は、前期実績D.I.△13.6に対して0.7ポイント、前回調査における今期予想D.I.△10.4に対しても3.9ポイントの不足傾向を示しました。

○ 業種別では、全体的に不足傾向の数値を示しました。

○ 4～6月期予想D.Iは△12.2で、1～3月期実績D.I.より2.1ポイント適正化を予想しています。

（２）設備投資の実施と予定状況　　（複数回答）

設備投資の実施内容		土地建物	機械新増設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合		2	6	9	5	28	1	60
	卸売	0	0	1	1	0	0	8
	建設	0	2	2	3	2	1	16
	小売	0	2	1	0	20	0	0
	サービス	0	1	3	0	2	0	10
	製造	2	1	2	1	4	0	26

設備投資の予定内容		土地建物	機械新増設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合		3	6	7	1	24	1	62
	卸売	1	0	0	0	0	0	9
	建設	0	3	2	0	2	1	15
	小売	1	1	3	0	18	0	0
	サービス	0	1	1	1	0	0	11
	製造	1	1	1	0	4	0	27

○ 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ51件で前期の42件を9件上回りました。
業種別内訳では、小売業が23件、建設業が10件、製造業が10件等となっています。
実施した設備内容は「車両」28件、「機械更改」9件、「機械新増設」6件、「事務機器」5件「土地建物」2件、「その他」1件となっています。

○ 来期の設備投資の予定を見ると、「予定あり」と回答した件数は延べ42件となっています。
業種別内訳では小売業23件、建設業8件・製造業7件等が予定されています。
設備投資計画の内容を見ると、「車両」24件、「機械更改」7件、「機械新増設」6件、「土地建物」3件、「事務機器」「その他」が各1件を予定しています。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）　（複数回答）

（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	4	5	10	9	8	5	4	7	9	11	5	7	40	44	15.6	16.6
同業者間の競争激化	0	0	3	7	6	7	3	2	3	4	3	2	18	22	7.0	8.3
利幅の縮小	5	2	8	7	8	6	3	0	10	12	3	2	37	29	14.5	10.9
人件費の増加	2	1	2	2	1	3	4	3	4	4	3	2	16	15	6.3	5.7
工場・機械（店舗設備）の狭小･老朽化	1	1	0	0	1	0	1	0	7	6	0	0	10	7	3.9	2.6
人件費以外の経費の増加	0	1	0	0	0	0	0	1	3	2	2	1	5	5	2.0	1.9
大手企業（大型店）との競争激化	4	2	1	1	3	4	0	0	0	0	1	0	9	7	3.5	2.6
合理化の不足	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0.8	0.0
天候の不順	1	2	3	6	2	4	2	5	4	2	0	0	12	19	4.7	7.2
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	0.8	0.4
原材料高･材料価格の上昇	0	0	4	5	0	0	5	5	14	12	0	0	23	22	9.0	8.3
地場産業の衰退	2	2	3	1	1	2	1	1	2	1	0	0	9	7	3.5	2.6
集客力の低下	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	2	3	0.8	1.1
駐車場･資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
為替レートの変動	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
販売商品の不足･商品物件の不足	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	5	4	7	8	2.7	3.0
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	2	2	0.8	0.8
人手不足	2	4	9	9	4	3	4	5	4	9	1	0	24	30	9.4	11.3
商圏人口の減少	0	0	0	0	10	7	3	2	0	0	0	0	13	9	5.1	3.4
取引先の減少	0	1	0	0	3	3	0	1	0	0	0	0	3	5	1.2	1.9
生産能力の不足･技術力の不足	0	0	1	2	0	0	0	0	6	3	0	0	7	5	2.7	1.9
輸入製品（商品）との競争激化	1	1	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	3	7	1.2	2.6
問題なし	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	2	2	5	0.8	1.9
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
その他	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	2	3	0.8	1.1
流通経路競争の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
大手企業･工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
親企業のよる選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文･多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品（業務）の陳腐化	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
仕入先からの値上要請	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	2	4	0.8	1.5
下請けの確保難	0	0	4	3	0	0	0	0	0	1	0	0	4	4	1.6	1.5
合　　計	24	26	49	53	52	54	31	35	73	76	27	21	256	265	100.0	100.0

○　各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～　「売上の停滞・減少」　44 件
第2位～　「人手不足」　30 件
第3位～　「利幅の縮小」　29 件

＊前期＊
第1位～　「売上の停滞・減少」　40 件
第2位～　「利幅の縮小」　37 件
第3位～　「人手不足」　24 件

○　業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第　1　位		第　2　位		第　3　位	
製　造　業	原材料高・材料価格の上昇	12	利幅の縮小	12	売上の停滞・減少	11
小　売　業	商圏人口の減少	7	同業者間の競争激化	7	利幅の縮小	6
建　設　業	売上の停滞・減少	9	人手不足	9	利幅の縮小 同業者間の競争激化	7
サービス業	売上の停滞・減少	7	原材料高・材料価格の上昇	5	人手不足 天候の不順	5

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）　（複数回答）

（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	4	6	12	13	14	13	4	7	17	16	3	4	54	59	22.2	23.1
販路を広げる	7	5	7	8	0	0	2	4	19	18	3	2	38	37	15.6	14.5
情報力を強化する	1	3	6	3	0	0	0	0	8	7	7	7	22	20	9.1	7.8
人材を確保する	3	3	11	9	2	5	4	6	13	11	2	0	35	34	14.4	13.3
技術力を強化（高める）	0	0	6	5	0	0	1	2	0	0	0	0	7	7	2.9	2.7
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	9	8	0	0	9	8	3.7	3.1
機械化を推進する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	2	2	0.8	0.8
パート化を図る	0	1	2	2	4	4	3	2	1	2	3	2	13	13	5.3	5.1
新商品・技術の開発･新しい工法の導入	1	0	1	2	0	0	1	1	0	0	1	1	4	4	1.6	1.6
宣伝･広告を強化する	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	2	1	3	4	1.2	1.6
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	2	3	0.8	1.2
新しい事業を始める	0	0	0	0	2	4	8	9	0	0	3	4	13	17	5.3	6.7
仕入先を開拓･選別する	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	3	4	1.2	1.6
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0.4	0.4
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	1.6	1.6
特になし	1	1	1	1	2	3	0	0	0	0	0	1	4	6	1.6	2.4
店舗･設備を改装する	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	0	0	4	3	1.6	1.2
工場･機械を増設･移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0.4	0.8
不動産の有効活動を図る	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	2	2	5	5	2.1	2.0
輸入品の取扱を増やす	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0.8	0.4
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	2	3	0.8	1.2
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0.8	0.8
営業時間を延長する	1	3	0	0	6	4	0	0	0	0	0	0	7	7	2.9	2.7
提携先を見つける	0	2	1	1	1	2	2	1	0	0	1	3	5	9	2.1	3.5
不採算部門を整理･縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
合　　計	19	24	50	47	43	48	30	33	73	76	28	27	243	255	100.0	100.0

○　経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～　「経費を節減する」　59 件
第2位～　「販路を広げる」　37 件
第3位～　「人材を確保する」　34 件

＊前期＊
第1位～　「経費を節減する」　54 件
第2位～　「販路を広げる」　38 件
第3位～　「人材を確保する」　35 件

○　業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第　1　位		第　2　位	
製　造　業	販路を広げる	18	経費を節減する	16
建　設　業	経費を節減する	13	人材を確保する	9
小　売　業	経費を節減する	13	人材を確保する	5
サービス業	新しい事業を始める	9	経費を節減する他	7

特別調査

「経営者の健康管理と事業の継続について」

問 1 貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。下記の1～5の中から１つ選んでお答えください。また、現在の社長（代表者）は何代目ですか。下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

	1. 20歳代、30歳代	2. 40歳代	3. 50歳代	4. 60歳代	5. 70歳代以上	6. 創業者	7. 2代目	8. 3代目	9. 4代目	0. 5代目以上
合計（構成比）	1.8%	11.8%	25.5%	38.2%	22.7%	25.7%	42.2%	20.2%	8.3%	3.7%
総合	2	13	28	42	25	28	46	22	9	4
卸売	0	1	2	4	3	1	2	4	2	1
建設	0	3	4	9	5	5	7	9	0	0
小売	0	2	7	8	5	3	15	1	3	0
サービス	0	2	3	5	4	4	6	2	0	2
製造	2	3	8	12	7	8	13	5	4	1
不動産	0	2	4	4	1	7	3	1	0	0

上記の1～5の質問に対して、60歳代が最も多く38.2%、次いで50歳代25.5%、70歳代以上22.7%、40歳代以下13.6%となっています。
また、6～0の質問に対しては、2代目が最も多く42.2%、次いで創業者25.7%、三代目20.2%、4代目以上12.0%となっています。

問 2 健全な経営のためには、社長（代表者）の健康が大切です。社長（代表者）の先月の労働時間（経営に費やした時間）は、1週間あたりにするとどの程度ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、健康診断をどの程度の頻度で受けていますか。下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

	1. 40時間未満	2. 40時間以上60時間未満	3. 60時間以上80時間未満	4. 80時間以上100時間未満	5. 100時間以上	6. 1年に1回以上	7. 2～4年に1回	8. 5～10年に1回	9. 10年以上受けていない	0. 受けたことがない
合計（構成比）	25.0%	56.5%	15.7%	1.9%	0.9%	83.6%	10.9%	0.9%	3.6%	0.9%
総合	27	61	17	2	1	92	12	1	4	1
卸売	4	5	0	1	0	7	2	0	1	0
建設	5	14	2	0	0	19	1	0	1	0
小売	3	14	3	1	1	18	2	1	1	0
サービス	1	9	4	0	0	12	1	0	1	0
製造	9	16	5	0	0	26	5	0	0	1
不動産	5	3	3	0	0	10	1	0	0	0

上記の1～5の質問に対して、40時間以上60時間未満が最も多く56.5%、次いで40時間未満25.0%、60時間以上80時間未満15.7%となっています。
また、6～0の質問に対しては、1年に1回以上が最も多く83.6%、次いで2～4年に１回以上が10.9%となっています。

問 3 仮に今、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月の休養を余儀なくされたとします。貴社では、どの程度の業務継続が可能ですか。1～5の中から1つ選んでお答えください。また、休養中に特に心配される貴社の機能の低下や悪化はどのようなものですか。6～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

	1. 通常通りの業務継続が可能	2. 主要業務に限り継続可能	3. 大幅に業務を縮小した上で継続可能	4. 業務継続は不可能（休業、廃業）	5. わからない	6. 営業機能や販売機能の低下	7. 生産機能や仕入機能の低下	8. 資金繰りの悪化	9. わからない	0. 心配していない
合計（構成比）	65.7%	19.4%	5.6%	4.6%	4.6%	48.0%	9.3%	12.0%	30.7%	0.0%
総合	71	21	6	5	5	36	7	9	23	0
卸売	8	0	0	0	2	4	0	1	1	0
建設	13	7	1	0	0	8	0	0	4	0
小売	14	3	3	1	1	8	1	1	6	0
サービス	7	4	1	1	1	5	2	2	2	0
製造	23	4	1	2	0	9	3	3	6	0
不動産	6	3	0	1	1	2	1	2	4	0

上記の1～5の質問に対して、通常通りの業務継続可能が最も多く65.7%、次いで主要業務に限り継続可能が19.4%となっています。なお、業務継続不可能が4.6%ありました。
また、6～0の質問に対しては、営業機能や販売機能の低下が最も多く48.0%、次いでわからないが30.7%、資金繰りの悪化が12.0%となっています。

問 4　問3に続いて、社長（代表者）の方がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとします。貴社には、休養中の社長（代表者）の事業を代行できる人がいますか。1～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

	1. 配偶者	2. 子供	3. 親	4. 親族（上記1～3以外）	5. 役員・従業員（親族以外）	6. 販売先・仕入先	7. 同業他社	8. その他	9. 自分の代わりはいない	0. 休業するから代わりは必要ない
合計（構成比）	17.5%	21.6%	4.1%	14.4%	39.2%	1.0%	1.0%	1.0%		
総合	17	21	4	14	38	1	1	1		
卸売	1	1	0	3	5	0	0	0		
建設	1	4	0	4	10	0	0	0		
小売	5	3	2	2	6	0	0	0		
サービス	1	5	0	0	6	0	0	0		
製造	7	7	2	3	8	1	1	0		
不動産	2	1	0	2	3	0	0	1		

上記の質問に対して、「5.役員・従業員（親族以外）」が39.2%、「2.子供」が21.6%、「1.配偶者」が17.5%、「4.親族（1～3以外）」が14.4%という結果となりました。

問 5　社長（代表者）にお尋ねします。あなたのストレス解消法は何ですか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

	1. 仕事における達成感	2. 社内での余暇活動（社員旅行等）	3. 家族とのふれあい	4. 地域活動、団体活動、ボランティア等	5. 飲食	6. 睡眠	7. 運動・スポーツ	8. 趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）	9. その他	0. ストレス解消法はない
合計（構成比）	13.4%	2.2%	16.5%	5.6%	17.7%	11.3%	12.6%	18.6%	0.0%	2.2%
総合	31	5	38	13	41	26	29	43	0	5
卸売	3	0	3	1	4	4	3	4	0	1
建設	9	1	9	1	6	6	6	9	0	0
小売	5	1	10	5	8	2	6	6	0	0
サービス	5	2	1	2	6	2	3	7	0	1
製造	8	0	12	2	12	10	9	13	0	1
不動産	1	1	3	2	5	2	2	4	0	2

上記の質問に対して、「趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）」が18.6%、「飲食」が17.7%、「家族とのふれあい」が16.5%、「仕事における達成感」が13.4%、「運動・スポーツ」が12.6%等という結果となりました。
一方、「ストレス解消法はない」が2.2%となっています。